

藁谷 耕人 (1927～2010年)

藁谷 耕人（本名：昇）は、棚倉町鉄炮町の染物屋を営む家に次男として生まれました。

幼少期を棚倉町で過ごし、棚倉町尋常高等小学校（現在の棚倉町立棚倉小学校）を卒業後、福島県立東白川農学校（旧福島県立東白川農商高等学校）に進学。その後、東京美術学校（現在の東京藝術大学）に進み、画家としての基礎を築きました。

東京美術学校では、後に画家・文化人として著名な平山郁夫らと研鑽を積み、画家の登竜門である院展に入選を果たし、数々の絵画展で受賞を重ね、高い評価を得ることとなります。

その後、財団法人日本相撲協会から制作依頼を受け、両国国技館に相撲の歴史を描いた陶壁画を制作・展示するなど、その活動の幅を広げていきました。

藁谷耕人は、戦後に活躍した棚倉町出身の日本画家として、多大な影響を与えました。